

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.281 2019.8.23

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
8月18日(日曜日)放送「主要会派代表者に聞く1」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、8月18日(日曜日)に放送した「主要会派代表者に聞く1」の内容をお伝えします。

こんにちは
県議会です

主要会派代表者に聞く①

[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です
「主要会派代表者に聞く1」

- 埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭団長
- 無所属県民会議 岡 重夫代表



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「主要会派代表者に聞く1」】

〈埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭団長〉

南第12区 さいたま市岩槻区選出
平成12年、埼玉県議会議員初当選(現在6期目)

平成24年、第114代埼玉県議会議長を務め、平成29年3月、埼玉県議会自由民主党議員団団長に就任

団長 県民の皆さま、こんにちは。埼玉県議会自由民主党議員団、団長の小島信昭です。

県民の皆さまには、わが党に対して、日ごろから多大なご支援とご支持を賜り、厚く御礼を申し上げます。

私たち自由民主党議員団は、大きく変化する時代の潮流をしっかりと捉え、新しい時代をけん引する、活力あふれる埼玉県を目指して、県民の皆さまの願いの実現に全力で取り組んでおります。どうぞよろしく願いいたします。



—4月30日から新たな任期が始まりましたが、自由民主党議員団は前回の任期から引き続き、県議会の最大会派となりましたね。—

団長 4月の選挙を経て、私たち自由民主党議員団は50名の議員が所属する最大会派として、新たな決意のもと、スタートを切りました。選挙において、県民の皆さまの声に真摯(しんし)に耳を傾け、希望を実現するための政策をしっかりと訴えた結果、大きな期待と信頼を寄せいただいたものと受け止めております。埼玉のさらなる発展に向け、今後もしっかりと県政をリードしてまいります。

—今年度、会派として、どのようなところに重点を置いて取り組まれているのですか。—

団長 今年は令和という新しい時代がスタートした大きな節目の年です。新しい時代にふさわしく、県民一人ひとりが将来に明るい展望を持てるよう、活力に満ちた埼玉づくりを力強く進めてまいりたいと考えています。



—具体的にはどのようなことに取り組んでいるのですか。—

団長 経済の活性化に、引き続き力を入れてまいります。わが国は今、超高齢化や人口減少といった大きな社会構造の変化に直面しています。こうした中、持続的な経済成長を遂げるために、わが党が提案した「超スマート社会」の実現を目指すプロジェクトがいよいよ動きだしました。県西部地域に未来産業を集積し、ロボットやAI、IoT、ビッグデータなどを活用した生産性革命を県内全域に波及させ、経済を好循環に導いてまいります。

—新しい技術の活用は経済の活性化に必要な不可欠なのですね。—

団長 昨今、中小企業を中心に人手不足感が高まっておりますが、IoTなど先端技術の活用は、こうした問題の有効な解決策の一つになると考えています。これと併せて、就業を希望する方が意欲や能力に応じて活躍できる環境を整備することも重要です。女性や高齢者などがそれぞれの事情に応じて多様な働き方が選択できるよう、さまざまな施策を通じてしっかりと支援してまいります。

—ほかに力を入れて取り組んでいきたい分野はありますか。—

団長 平成29年の6月定例会において、虐待はいかなる理由があっても禁止されるものだという基本理念のもと、「埼玉県虐待禁止条例」を制定いたしました。しかし、悲しい事件が後を絶たず、依然として深刻な状況が続いております。関係機関の連携や体制の強化を含め、県全体が一丸となって児童虐待根絶に向けた不断の努力を重ねていかなければなりません。先の2月定例会において決議をしたところではありますが、「埼玉から児童虐待を一件も起こさせない」という強い決意を持って、あらゆる対策を進めてまいります。

—子どもたちを守ることは、埼玉県の未来を守ることに繋がりますね。—

団長 未来を担う子どもたちが生き生きと輝く社会をつくることは、私たちの責務だと思います。そのためには子育て支援も重要です。私たちはこれまでも、私立高等学校の授業料の父母負担軽減など、子育て世代、あるいは子どもたちを応援する施策を推進してまいりました。今後も引き続き、全力を尽くしてまいります。



また、今年度から幼児教育・保育の無償化も始まりますので、保育人材の確保に向けた施策をより一層充実させていく必要性も感じています。

—医療人材の確保にも力を入れて取り組まれていますね。—

団長 本県は全国トップクラスのスピードで高齢化が進むと予見されております。医療や介護の需要が今後急速に高まると考えられます。わが党の働き掛けによって順天堂大学医学部附属病院の誘致が実現したところでありますが、医療や介護人材の処遇改善など実効性のある対策をさらに進めてまいります。

—それでは、最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

団長 私たち自由民主党議員団は、新しい時代の埼玉を希望と活力あふれるものとすべく、県民の皆さまのご意見やご要望をしっかり受け止め、団員一丸となって全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

〈無所属県民会議 岡 重夫代表〉

東第6区 白岡市・宮代町選出
平成19年、埼玉県議会議員初当選(現在4期目)
今年5月、無所属県民会議代表に就任

代表 皆さま、こんにちは。無所属県民会議の岡重夫です。私たちの会派は、4月の県議会議員選挙で7名から14名と所属議員が倍増し、第2会派となりました。また、女性議員が4名も加わり、今後は女性の視点でさまざまな課題に取り組むことができると考えて



います。どうぞよろしくお願いいたします。

—5月に会派として要望書を提出されたとお聞きしたのですが、どのような内容だったのですか。—

代表 まず、5月4日の降ひょう被害を受けた梨農家の皆さまに心からお見舞い申し上げます。私たちは被害の発生が判明してすぐに梨農家を訪問して被害状況を伺い、連休明けの5月7日には上田知事に対し「埼玉県名産の梨への降雹被害の対策を求める要望書」を提出しました。その結果、特に被害の大きかった5市1町を対象に特別災害指定がなされました。今後も、被害に遭われた梨農家の皆さんを支援していきたいと思っております。

—今年度、会派としてどのようなことに力を入れて取り組んでいこうとお考えですか。—

代表 子どもたちの健やかな成長を支える環境づくり、これが第1点。第2点目が、団塊世代が後期高齢者になり、介護医療費などの社会保障費の急増が予想される「2025年問題」への対応。3点目は大震災や猛暑から県民の命を守るための取り組み、そして環境問題への対応。この四つの重要課題に力を入れていきたいと考えています。



—一つずつ伺ってまいります。一つ目の子どもたちの健やかな成長を支える環境づくりについてお聞かせください。—

代表 まずは、児童虐待から子どもたちを守ることです。虐待防止には早期発見と通報から48時間以内に安全を確認する迅速な対応が重要です。今年度、県では全国に先駆けて児童相談所と警察署の間でリアルタイムに情報を共有するシステムを構築し、35名の児童福祉司を増員します。県議会でも今年の2月定例会で「児童虐待禁止に関する決議」を行いました。引き続き積極的に取り組んでまいります。

—子育ての環境整備も重要ですね。—

代表 安心して子育てできる環境とするためには、待機児童を解消しなくてはなりません。埼玉県の待機児童は今年度当初1,208名で全国でもトップクラスの多さです。県では保育所や認可保育所の整備などを進め、7,000人分の保育サービスの受入枠拡大を図っています。一方で、保育士が不足していますので、保育士の確保対策が急務です。保育士の就業支援や処遇改善のほか、保育士の資格を持ちながら保育所に勤務していない多くの潜在保育士の掘り起こしと再就職支援にも取り組んでまいります。

—二つ目の2025年問題への対応についてはいかがですか。—

代表 毎日を健康で生き生きと暮らすことができる社会を実現するため、生活習慣病予防対策やがん検診の受診率向上に取り組んでいきます。さらに、市町村主体で地域包括ケアシステムの構築が進められていますが、介護と医療などの連携のためには県のサポートも大切です。そして、介護人材を確保するため、処遇改善や介護士を志す外国人への日本語学習支援にも取り組んでまいります。

—三つ目の災害などから県民の命を守る取り組みについてはいかがです

か。—

代表 まず、30年以内に70%以上の確率で発生が予想される首都直下型地震への対策です。具体的には、橋梁(きょうりょう)の耐震性の向上やDMAT(災害派遣医療チーム)の養成研修の実施も重要です。また、地球温暖化の影響により、災害級と言われるような猛暑に対し、子どもたちや高齢者を熱中症から守る取り組みも進めてまいります。



—四つ目の環境問題についてはいかがですか。—

代表 太陽光パネルの廃棄物が21年後の2040年には今の約300倍の約80万トンも排出されると予想されています。現在、県では業界と協働して処理技術の開発・研究を進めております。技術を早急に確立して、処理費用の低減を図ってまいります。さらに、世界規模で問題となっているマイクロプラスチックの削減に向けた取り組みも重要です。プラスチックの削減に加えて、代替品の開発などの取り組みを推進してまいります。

—最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

代表 今申し上げた四つの重要課題のほかにも、来月開幕するラグビーワールドカップ、そして来年の東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けた取り組み、学校における働き方改革の推進、そして農家の後継者問題の解消や生産性向上のためAIなど先端技術を活用した農業のスマート化への支援など、無所属県民会議はこれからも県民の安心・安全のために全力を尽くしてまいります。

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：
7月22日
～7月26日
作者：
龍生派
田村雅松様
花材：カークリ
コ、バンブー、
ドラセナ(ソング
オブ・イン
ディオ)、ヒペリ



展示期間：
7月29日
～8月2日
作者：
桂古流
新藤華盛様
花材：パンパ
スグラス、ク
ジャクヒバ

カム、アルスト
ロメリア

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇

【Part1】



〈龍生派 田村雅松様〉

Q:どのようなイメージで作品を生けましたか。

A:中央にカークリコの大きな葉で縦の直線を、それを取り囲むように曲線的なバンブーを配置しています。直線と曲線の対比により、カークリコの葉が引き立つとともに、バンブーの力強い曲線が作品に動きを与えます。

Q:アルストロメリアが背面からも顔をのぞかせていますね。

A:作品をどの方向から見ても程よく花びらが見えるように工夫しました。どの角度でも程よくピンクの色味が表れ、少しずつ変化していく表情を楽しんでいただければうれしいです。

【Part2】



〈桂古流 新藤華盛様〉

Q:パンパスグラスの穂がきれいに輝いていますね。

A:秋に大きく穂を広げるパンパスグラスの夏の姿です。皮を1枚ずつ剥いていくと、このように美しい銀色の穂が現れます。今回はこのパンパスグラスを主役にし、クジャクヒバで引き立てています。パンパスグラスから、真夏から初秋へかけての季節の移り変わりを感じていただけたらと思います。

Q: 作品の中での主役の花材とそれを引き立てる花材や花器との関係はどのようにしているのでしょうか。

A: 今回の2種合わせ生けではパンパスグラスが主役なのですが、クジャクヒバに対してパンパスグラスを少なくし、メリハリをつけています。
また、生ける本数は奇数になるよう、枝を選んでいきます。奇数という点では、用いた花器も3本足の鼎(かなえ)型花器というもので、奇数の美に基づいています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会のホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

